

平成20年度

全国学力・学習状況調査 分析結果

泉佐野市教育委員会

平成20年11月

はじめに

文部科学省は、「全国的な義務教育の機会均等と水準向上のため、児童生徒の学力・学習状況を把握・分析し、教育の結果を検証し、改善を図る」ことなどを目的として平成19年度より小学校6年生及び中学校3年生を対象に「全国・学力学習状況調査」を実施しています。この調査では「各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育結果を把握し、改善を図る」ことも目的のひとつとされています。本市では平成19年度調査について、教育委員会においては市全体の、各学校においては各学校の調査結果を分析し、具体的な施策や取り組みに生かしてまいりました。

さて、平成20年度の調査結果の取り扱いにつきましても、教育委員会議での議論をかさねてまいりましたが、10月8日の臨時教育委員会議において、保護者、市民の皆さまに本市の児童生徒の状況をより具体的に示し、教育への深い理解と関心をもつていただくため、調査結果を公表することとしました。

なお、本調査により測定できるのは学力の特定の一部であることや、学校における教育活動の一側面に過ぎない、ということを十分ご理解いただきましたうえで、今後とも教育行政ならびに学校のさまざまな教育活動にご理解とご支援をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成20年11月

泉佐野市教育委員会
委員長 赤木 攻

全国学力・学習状況調査について

1. 調査の目的

- 国が、全国的な義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、各地域における児童生徒の学力・学習状況をきめ細かく把握・分析することにより、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。

2. 調査の名称

「平成20年度全国学力・学習状況調査」

3. 調査の対象

- 小学校第6学年、中学校第3学年の原則として全児童生徒

4. 調査の内容

- 小学校6年（国語、算数）、中学校3年（国語、数学）
- 教科に関する調査（国語、算数・数学）
 - ・ 主として「知識」に関する調査（以下「A区分問題」という。）
 - ◇ 身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容
 - ◇ 実生活において不可欠であり、常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 など
 - ・ 主として「活用」に関する調査（以下「B区分問題」という。）
 - ◇ 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力
 - ◇ 様々な課題解決のための構想を立て、実践し、評価・改善する力 など
- 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
 - ・ 児童生徒に対する調査
 - 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査
 - ・ 学校に対する調査
 - 指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

小学校

(平成20年4月22日実施 1,062名参加)

国語に関する分析
算数に関する分析
児童質問紙の分析
学校質問紙の分析

国語に関する分析

1. 全体の傾向

「A区分問題」…概ね全国と同様であった。

- ・問題の難易度が上がったこともあり、全国と同様、正答数の分布が分散化した。

「B区分問題」…やや課題があった。

- ・問題の難易度が上がったこともあり、全国と同様、正答数の分布が分散化した。

2. 学力状況調査より

国語A	課題がみられた設問
<p>【話すこと・聞くこと】 ○二つの資料を読み比べ、筆者の意図が最大限に伝えられるような文章の組み立ての工夫をとらえ、説明することに課題がある。</p> <p>6 下書きの文章と発表原稿とを比べ、発表しやすく工夫したところをとらえることができる <64.9/74.1></p> <p>【書くこと】 ○文の構成や表現の効果を確かめ、正しく推敲するために必要な事柄を指摘することに課題がある。</p> <p>3 文の構成や表現の効果を確かめ、正しく推敲することができる <28.1/33.7></p>	<p>【読むこと】 ○目的や意図に応じて段落の内容をとらえることに課題がある。</p> <p>9一 目的や意図に応じて、段落の内容をとらえることができる（文章中の表現について言い換えた部分を抜き出す） <34.0/40.6></p> <p>【言語事項】 ○日常生活でよく使う漢字を文脈に沿って書くことは概ねできているが、辞書の文章を読んで、日常生活であまり使わない熟語を書くことに課題がある。</p> <p>2一（1）ウ 文脈における意味を考えながら、同音異義や同訓異義の漢字を使い分けられることができる（開場） <32.1/36.8></p>

国語B	課題がみられた設問
<p>【話すこと・聞くこと】 ○質問する内容や順序を考え、相手に応じた丁寧な言葉遣いで聞いていることをとらえ、説明することに課題がある。また、相手の発言の思いをくみ取ることなく（内容を深めることなく）、早々と次の質問に移り、自分が予定した質問を優先させたことが、評価の理由になっていることをとらえ、説明することに課題がある。</p> <p>1一 相手や目的に応じた内容や質問する順序を考えながら、適切な言葉遣いで聞くことができる <67.2/76.5></p> <p>1二 話し手の意図を考え、反応を示したり、内容を深めたりして聞くことができる <57.5/69.4></p> <p>【書くこと】 ○所定の形式に応じて情報を整理して書いたり、例示を手がかりにして書き換えたりすることに課題がある。 ○意見文の組み立てをとらえることに課題がある。</p> <p>3三（1）目的に応じて必要な情報を取り出して、効果的に書くことができる（案内状の題名） <35.6/41.3></p> <p>3三（2）目的に応じて必要な情報を取り出して、効果的に書くことができる（行事の内容） <28.4/32.4></p> <p>4 エオカ 意見文を書くために、二つの意見文を比べ読み、文章全体の組み立ての違いをとらえることができる <31.1/35.6></p>	<p>【読むこと】 ○登場人物の心情と場面についての描写とを関連付け、物語の展開を押さえて読み、字数制限内で説明することに課題がある。 ○目的に応じて資料から必要な情報を正しく取り出し整理すること（複数の情報の関連付けや取捨選択）に課題がある。 ○資料から情報を読み取り、テーマや条件に即して、自分の考えを明確に書くことに課題がある。</p> <p>2三 登場人物の心情と場面についての描写を叙述と関連付けて読むことができる <35.9/45.0></p> <p>3一 目的に応じて必要な情報を取り出し、整理することができる <32.5/39.2></p> <p>3二 目的に応じて情報を読み取り、分かったことや自分の考えを明確に書くことができる <23.7/32.8></p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	泉佐野市	全国	10PO 5PΔ	差
国語の勉強は好きですか	49.7	56.1	Δ	6.4
国語の勉強は大切だと思いますか	84.9	89.4		4.5
国語の授業内容はよく分かりますか	73.3	78.0		4.7
読書は好きですか	68.3	72.3		4.0
新しく習った漢字を実際の生活で使おうとしていますか	68.7	75.5	Δ	6.8
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ と思いますか	81.2	85.0		3.8
国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、 書いたりしていますか	43.3	56.4	○	13.1
国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の 組み立てを工夫していますか	44.0	57.3	○	13.3
国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように 気をつけて書いていますか	57.8	67.1	Δ	9.3
国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとまりごとに内容を 理解しながら読んでいますか	67.7	71.9		4.2
解答を文章で書く問題について、最後まで書こうと努力した	59.2	67.5	Δ	8.3

- 国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていると感じている児童が半数以下（43.3％）であることは課題である。
- 国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していると感じている児童が半数以下（44.0％）であることは課題である。
- 国語の授業は大切であると思っている（84.9％）が、国語の授業が好きであると思っている児童が半数以下（49.7％）であることは課題である。

設問別平均正答率（小学校 国語A）

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	泉佐野市	全国
			正答率（％）	正答率（％）
1ー（1）	漢字を読む（自然を <u>保護</u> する）	学年別漢字配当表の当該学年の前の学年までに配当されている漢字を正しく読む	97.6	98.1
1ー（2）	漢字を読む（全員がすぐに <u>承知</u> した）		88.1	89.1
1ー（3）	漢字を読む（水が <u>勢</u> いよく流れる）		78.1	76.3
1二（1）	漢字を書く（ボールを <u>な</u> げる）	学年別漢字配当表の当該学年の前の学年までに配当されている漢字を正しく書く	81.6	82.6
1二（2）	漢字を書く（かぜを <u>よ</u> ぼうする）		59.9	63.0
1二（3）	漢字を書く（駅まで歩いて <u>お</u> う <u>ふ</u> くする）		69.1	64.4
2ー（1） ア	漢字を書く（同音異義語： <u>会</u> 場）	文脈における意味を考えながら、同音異義や同訓異義の漢字を使い分ける	56.3	58.1
2ー（1） ウ	漢字を書く（同音異義語： <u>開</u> 場）		32.1	36.8
2ー（2）	正しい漢字を選択する（同音異義語： <u>開</u> 場）		58.4	64.8
2二	漢字を書く（同訓異義語： <u>か</u> えり）		90.5	90.1
3	文章を読み返して、書き直したほうがよい理由と方法を選択する	文の構成や表現の効果を確かめ、正しく推敲する	28.1	33.7
4	似た意味の言葉の使い分けとして適切な説明を選択する	言葉の使い方について調べ、結果から考えたことを明確に書く	47.8	53.1
5	スピーチの内容に即して、カードを並べかえる	スピーチの組み立ての工夫をとらえる	70.8	78.2
6	下書きの文章と発表原稿とを比べ、工夫したところを書く	下書きの文章と発表原稿とを比べ、発表しやすく工夫したところをとらえる	64.9	74.1
7	グラフから分かったことをメモに取る	目的や課題に即して、資料から分かったことをメモに取る	40.2	47.5
8	学校を紹介する文章に、適切な小見出しを書く	文章の内容に合わせて、小見出しを書く	73.9	78.7

9一	文章中の表現について言い換えた部分を抜き出す	目的や意図に応じて、段落の内容をとらえる	34.0	40.6
9二	筆者が伝えなかったこととして適切な内容を選択する		44.3	48.5

設問別平均正答率（小学校 国語B）

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	泉佐野市	全国
			正答率（%）	正答率（%）
1一	インタビューの仕方や内容について評価した理由を書く	相手や目的に応じた内容や質問する順序を考えながら、適切な言葉遣いで聞く	67.2	76.5
1二		話し手の意図を考え、反応を示したり、内容を深めたりして聞く	57.5	69.4
2一ア	物語の冒頭部分を読んで、残雪についての特徴を書く	二つの物語文の冒頭部分における登場人物の特徴をとらえる	72.3	72.8
2一イ	物語の冒頭部分を読んで、おかあさんグマについての特徴を書く		50.0	52.2
2二	おかあさんグマの目に入った春の訪れについての描写を書く	場面についての描写をとらえる	43.8	49.3
2三	「わるいこと」という場面の様子をとらえ、おかあさんグマの心情を書く	登場人物の心情と場面についての描写を叙述と関係付けて読む	35.9	45.0
3一	「図書館だより」から、6年生が読書相談をすることができる曜日と時間帯を書く	目的に応じて必要な情報を取り出し、整理する	32.5	39.2
3二	「図書館だより」のグラフから分かったことを基にし、テーマや条件に即して自分の考えを書く	目的に応じて情報を読み取り、分かったことや自分の考えを明確に書く	23.7	32.8
3三（1）	「図書館だより」の内容を案内状に書き換える（案内状の題名）	目的に応じて必要な情報を取り出して、効果的に書く	35.6	41.3
3三（2）	「図書館だより」の内容を案内状に書き換える（行事の内容）		28.4	32.4
4アイウ	2つの意見文を比べて読み、文章の組み立てとして適切な内容を選択する	意見文を書くために、二つの意見文を比べて読み、文章全体の組み立ての違いをとらえる	55.4	59.4
4エオカ			31.1	35.6

算数に関する分析

1. 全体の傾向

「A区分問題」…概ね全国と同様であった。

- ・分布については、国に対してやや左に偏っている。つまり、国に比べて上位層が少なく、中位層・下位層が多くなっている。

「B区分問題」…やや課題があった。

- ・分布については、7問正答の子どもが最も多かったことは全国と同じであるが、4問正答した子どもの数が2番目に多く、グラフが台形に近くなっており、学力の2極化の傾向が見られる。

2. 学力状況調査より

算数A	課題等がみられた設問
<p>【数と計算】</p> <p>○商を分数で表すことに課題。「商」の意味理解に課題。</p> <p>○小数の計算における乗数と積の大きさ、除数と商の大きさの関係の理解について課題。</p> <p>○何倍かを求めるために除法が用いられることについては国より正答率が高い</p> <p>○面積についての感覚に課題。</p> <p>1 (6) $2 \div 3$の商を分数で表す。 <62.4/73.7></p> <p>3 小数の乗法及び除法の式で、計算の答えが被乗数、被除数より大きくなるものを選ぶ。 <39.2/45.1></p>	<p>4 (1) 12mのテープの長さは3mのテープの長さの何倍かを求める式と答えを書く。 <83.1/83.0></p> <p>(2) 6mのテープの長さは12mのテープの長さの何倍かを求める式と答えを書く。 <56.3/55.5></p> <p>6 (2) 面積が150cm²であるものを選ぶ。 <16.4/17.7></p> <p>【図形】</p> <p>○ひし形、直角三角形の定義や性質については国より正答率が高い。</p> <p>8 (2) ひし形を2本の対角線で切ったときにできる三角形の名前を答える。 <67.8/64.1></p>

算数B	課題等がみられた設問
<p>【数と計算】</p> <p>○情報を整理選択し、筋道を立てて考え、示された判断が正しい理由を記述することに課題。</p> <p>○掃除当番表から規則性をよみとることに課題。</p> <p>1 (2) どの2つの戸棚を選んで置いても、ドアを開け閉めすると、ドアが戸棚に当たってしまうわけを書く。 <25.4/30.1></p> <p>4 (1) 5班編制の掃除当番表を基に、7週目の掃除当番表と同じになる週を選ぶ。 <75.9/81.2></p> <p>【量と測定・図形】</p> <p>○円の面積の求め方を基に、半円の面積の求め方を表す式をよみとることに課題。</p> <p>○三角形から長方形に図形を変えて考える発展的な場面で面積の関係をとらえることに課題。</p> <p>○図形を変えて考える発展的な場面で、面積の関係をとらえ、判断の理由を記述することに課題。</p> <p>3 (1) 三角形の各頂点を中心に円の一部をかき、それらを合わせた面積を求める式を選ぶ。 <50.6/57.8></p> <p>3 (2) 長方形の各頂点を中心に円の一部をかき、それらを合わせた面積が、三角形の場合の何倍になるかを答える。 <63.9/69.1></p> <p>3 (3) 長方形と四角形について、各頂点を中心に円の一部をかき、それらをあわせた面積の関係をとらえ、判断のわけを書く。 <27.2/33.1></p>	<p>【数量関係】</p> <p>○比較量を求めるために必要な基準量と割合を、グラフから選択することに課題。</p> <p>○他者の考え方が正しいかどうかを割合の考え方をを用いて判断し、その理由を記述することに課題。</p> <p>○示された解決方法を理解し、その解決方法を用いて別の問題の解決方法を記述することに課題。</p> <p>○グラフの特徴を基にグラフの対応を考え、与えられたグラフが誰のものかを判断することに課題。</p> <p>2 (2) 棒グラフと円グラフから、2000年の野菜の生産額を求めるために必要な情報を選ぶ。 <52.4/58.4></p> <p>2 (3) 米の生産額について、「割合が減っているから、生産額が減っている」という考え方が正しいかどうか判断し、そのわけを書く。 <14.9/17.3></p> <p>4 (2) 教室の掃除をする週の求め方を基に、校庭の掃除をする週の求め方を書く。 <33.2/38.3></p> <p>5 (2) 身長の変化を表す折れ線グラフと、身長の伸びを表す棒グラフの一部を比べて、その違いを書く。 <16.0/19.4></p> <p>5 (3) 与えられた折れ線グラフが、誰の身長の変化を表したものを考え、当てはまる人の身長の伸びを表している棒グラフを選ぶ。 <22.2/28.0></p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	泉佐野市	全国	10P○ 5P△	差
算数の勉強は好きですか	62.9	65.4		2.5
算数の勉強は大切だと思いますか	91.1	91.7		0.6
算数の授業の内容はよく分かりますか	76.2	78.4		2.2
算数の授業で新しい問題に出会ったとき、それを解いてみたいと思いますか	73.0	77.2		4.2
算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか	71.2	76.0		4.8
算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	57.6	65.1	△	7.5
算数で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思いますか	83.9	87.4		3.5
算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法はないか考えますか	74.1	77.0		2.9
算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか	70.7	78.4	△	7.7
算数の授業で問題の解き方や考え方がわかるようにノートに書いていますか	77.8	81.4		3.6
言葉や式を使って、わけや求め方を書く問題について、どのように解答しましたか	96.3	96.6		0.3

- 算数や算数の授業について子どもたちは全国と同じレベルで前向きに取り組んでいることが窺える
- 学習状況調査の中で、全国との差がややある項目が11項目中2項目あった。
- 普段の生活への活用や公式・きまりの理解についてはやや課題がある。
算数で学んだことが算数の中で完結してしまうことのないように、より深い理解を求めていく必要がある。

設問別平均正答率（小学校 算数A）

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	泉佐野市	全国
			正答率(%)	正答率(%)
1 (1)	132-124 を計算する	繰り下がりのある減法の計算をすることができる	92.5	93.0
1 (2)	52×41 を計算する	整数の乗法の計算をすることができる	86.8	86.5
1 (3)	6+0.5 を計算する	整数と小数の加法の計算をすることができる	78.9	82.9
1 (4)	68.4÷36 を計算する	小数と整数の除法の計算をすることができる	72.9	76.2
1 (5)	3+2×4 を計算する	加法と乗法の混合した整数の計算をすることができる	66.4	70.9
1 (6)	2÷3 の商を分数で表す	商を分数で表すことができる	62.4	73.7
2 (1)	10 を 6 個, 1 を 8 個, 0.1 を 3 個合わせた数を書く	十進位取り記数法について理解している	89.7	89.4
2 (2)	7/10 と等しい数を選ぶ	分数と小数の関係を理解している	79.6	82.2
3	小数の乗法及び除法の式で, 計算の答えが被乗数, 被除数より大きくなるものを選ぶ	小数の計算における乗数と積の大きさ, 除数と商の大きさの関係について理解している	39.2	45.1
4 (1)	12m のテープの長さは 3m のテープの長さの何倍かを求める式と答えを書く	何倍かを求めるために除法が用いられることを理解している	83.1	83.0
4 (2)	6m のテープの長さは 12m のテープの長さの何倍かを求める式と答えを書く	何倍かを求めるために除法が用いられることを理解している	56.3	55.5
5	底辺 8cm, 高さ 6cm, 斜辺 7cm の平行四辺形の面積を求める式と答えを書く	平行四辺形の面積の求め方を理解し, 面積を求めることができる	81.9	85.2
6 (1)	重さが約 1kg であるものを選ぶ	重さについての感覚を身に付けている	62.4	65.7
6 (2)	面積が約 150cm ² であるものを選ぶ	面積についての感覚を身に付けている	16.4	17.7
7	円周率を求める式に当てはまる言葉を選ぶ	円周率の意味について理解している	72.6	76.8
8 (1)	ひし形を 1 本の対角線で切ったときにできる三角形の名前を答える	ひし形, 二等辺三角形の定義や性質について理解している	76.5	77.4

8 (2)	ひし形を2本の対角線で切ったときで きる三角形の名前を答える	ひし形, 直角三角形の定義や性質について理解し ている	67.8	64.1
9 (1)	円グラフから「科学」の本の冊数の割合を よみとる	円グラフをよむことができる	90.0	91.4
9 (2)	620冊の本の40%の冊数を求める式と答え を書く	百分率の意味について理解している	50.8	54.9

設問別平均正答率 (小学校 算数B)

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	泉 佐 野 市	全 国
			正 答 率 (%)	正 答 率 (%)
1 (1)	ドアを開け閉めすると, 置いた物にドアが 当たってしまう場所を正しく表している図 を選ぶ	開け閉めするドアの動きが, 円の一部であること を見いだすことができる	82.3	84.9
1 (2)	どの2つの戸棚を選んで置いても, ドアを 開け閉めすると, ドアが戸棚に当たってし まうわけを書く	情報を整理選択し, 筋道を立てて考え, 示された 判断が正しい理由を記述することができる	25.4	30.1
2 (1)	グラフからA町の1980年の農業生産額をよ みとる	グラフから情報をよみとることができる	83.5	84.3
2 (2)	棒グラフと円グラフから, 2000年の野菜の 生産額を求めるために必要な情報を選ぶ	比較量を求めるために必要な基準量と割合を, グ ラフから選択することができる	52.4	58.4
2 (3)	米の生産額について, 「割合が減っている から, 生産額は減っている」という考え方 が正しいかどうかを判断し, そのわけを書 く	他者の考え方が正しいかどうかを割合の考えを用 いて判断し, その理由を記述することができる	14.9	17.3
3 (1)	三角形の各頂点を中心に円の一部をかき, それらをあわせた面積を求める式を選ぶ	円の面積の求め方を基に, 半円の面積の求め方を 表す式をよみとることができる	50.6	57.8
3 (2)	長方形の各頂点を中心に円の一部をかき, それらをあわせた面積が, 三角形の場合の 何倍になるかを答える	三角形から長方形に図形を変えて考える発展的な 場面で, 面積の関係をとらえることができる	63.9	69.1
3 (3)	長方形と四角形について, 各頂点を中心に 円の一部をかき, それらをあわせた面積の 関係をとらえ, 判断のわけを書く	図形を変えて考える発展的な場面で, 面積の関係 をとらえ, 判断の理由を記述することができる	27.2	33.1
4 (1)	5班編成の掃除当番表を基に, 7週目の掃 除当番表と同じになる週を選ぶ	掃除当番表から規則性をよみとることができる	75.9	81.2

4 (2)	教室の掃除をする週の求め方を基に、校庭の掃除をする週の求め方を書く	示された解決方法を理解し、その解決方法を用いて別の問題の解決方法を記述することができる	33.2	38.3
5 (1)	学年ごとの身長を表した表から、5年生から6年生までの身長の伸びを求め、棒グラフに表す	学年ごとの身長を表した表から身長の伸びを求め、その伸びを棒グラフに表すことができる	65.0	68.6
5 (2)	身長の変化を表す折れ線グラフの一部分と、身長の伸びを表す棒グラフの一部分を比べて、その違いを書く	グラフの特徴を基に2つのグラフが対応していないことをよみとり、違いを記述することができる	16.0	19.4
5 (3)	与えられた折れ線グラフが、誰の身長の変化を表したものかを考え、当てはまる人の身長の伸びを表している棒グラフを選ぶ	グラフの特徴を基にグラフの対応を考え、与えられたグラフが誰のものかを判断することができる	22.2	28.0

児童質問紙の分析

泉佐野市の子どもたちの意識調査を、質問に対して4択（63問）で選ぶものは、選択肢1, 2と3, 4はそれぞれ同じ傾向と捉える。（例えば、1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない）

また、それ以外の質問（12問）は特徴的な事柄を取り出し、それらを全国・府と比較している。

下記の表には全国と比較して5pt（ポイント）以上差のあるものを列挙した。また、下線部に関しては10pt以上の差のあるもの。（* 泉佐野市の表中●は正答率と関係がある。）

設問内容種類別の全国等との比較で差が大きい特徴のある項目

設問内容種別	大阪府	泉佐野市 <泉佐野市 pt/全国 pt>
【生活の様子】	「就寝や起床の時間」・「朝食の摂取」・「学校の準備」等で望ましい状況の回答をした子どもの割合が低い。	<ul style="list-style-type: none"> ●学校での出来事を家の人に話す子どもの割合が低い。 <61.9/69.2> ●新聞やテレビのニュースへの関心が低い。 <56.9/66.1> ○家の人とで朝食を食べているのは少ない。 <51.6/60.7> ○<u>就寝時間（午後11時以降）が遅い。</u> <29.9/18.4> ○1日にテレビを見る時間が4h以上。 <29.2/24.2> ○近所の人にあいさつをしている子どもの割合が低い。 <79.8/88.7> ○人が困っている時は、進んで助けると答えた子どもの割合が低い。 <72.3/77.7> ○人助けをした子どもの割合が低い。 <36.0/41.3> ○動物の飼育、草花の育てなどの経験者が少ない。 <73.4/79.3>
【家庭学習の様子】	長時間学習に取り組む子どもの割合が高い反面、家庭で全く学習しない子どもの割合も高い。 読書が好きと答えている子どもの割合も低く、全く読書しない子どもの割合も高い。	<ul style="list-style-type: none"> ●テスト後の間違い直しの学習をする子どもが少ない。 <55.7/63.1> ●自分で計画を立てて勉強している子どもが少ない。 <43.2/52.0> ○<u>普段、読書を全くしない子どもが多い。</u> <31.6/20.4> ○学習塾（家庭教師）に通っていない子どもが少ない。 <45.2/51.5> ○予習している子どもが少ない。 <26.5/35.4> ○普段の学習時間長短者は二極化。 2h以上 <31.4・25.5> 0.5h以下 <22.6/17.5>
【学校での学習の様子】	「勉強に対する熱意」「授業規律」などに課題があると答え	<ul style="list-style-type: none"> ●国語が好きと思う子どもの割合が低い。 <49.7/56.1> ●<u>国語の授業で目的に応じて資料読み、自分の考えを話したり、書いたりする子どもが少ない。</u> <43.3/56.4>

<p>ている割合が高い。</p> <p>授業において「資料を読んで、自分の考えを話したり、書いたりする」と答えた回答の割合が低い。</p> <p>学習内容を普段の生活や自分の将来につなげていると答えた子どもの割合が低い。</p> <p>昨年度より、放課後等の補足的な学習を実施している学校の割合が高く、今年度も増加傾向にある。</p>	<p>●国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気をつけている割合も低い。 <57.8/67.1></p> <p>●解答を文章で書く問題について、最後まで努力した子どもの割合が低い。 <59.2/67.5></p> <p>●国語Aの解答時間が余った、ちょうど良いと答えた子どもが少ない。 <46.9/55.4></p> <p>●算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないかと考えている子どもが少ない。 <57.6/65.1></p> <p>●算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしている子どもが少ない。 <70.7/78.4></p> <p>○<u>国語の授業で意見発表時に上手く伝える工夫をしている子どもが少ない。</u> <44.0/57.3></p> <p>○<u>学校のきまりを守っていると答えた割合が低い。</u> <73.1/86.3></p> <p>○<u>総合的な学習の時間で、新しい発見ができると答えた子どもが少ない。</u> <57.9/71.2></p> <p>また、役に立つと思っている子どもも少ない。 <67.1/75.7></p> <p>○<u>学校で好きな授業があると答えた子どもは少ない。</u> <86.5/92.4></p>
---	---

学校質問紙の分析

本市の調査結果を国の数値と比較し、

プラスの状況と考えられるものには ○印 を

マイナスの状況と考えられ、課題として捉えているものには ●印 をつけている。

学習規律について・・・良好な状態であると考えられる			
	泉佐野市	国	
熱意を持って勉強していると思う	100.0%	91.8%	○
授業中の私語が少なく落ち着いていると思う	100.0%	90.0%	○
学習規律の維持を徹底している	100.0%	96.6%	○
礼儀正しいと思う	92.3%	87.1%	○
学校や地域で挨拶するよう指導している	100.0%	99.4%	
生活について・・・課題があると考えられるが、本市だけではなく大阪府の課題でもあると考えられる			
	泉佐野市	国	
第6学年の児童のうち、就学援助を受けている児童の割合が10%以上である	84.6%	42.4%	●
学習環境について・・・学習環境の整備が不十分である。また、ICT教育推進も課題である			
	泉佐野市	国	
普通教室にLANが整備されている	0.0%	44.9%	●
学校図書館図書標準が達成されている	7.7%	47.9%	●
「朝の読書」などの一斉読書の時間を設けている	69.2%	93.2%	●
長期休業中を利用した補充的な学習サポートを実施している	30.8%	50.0%	●
発達障害により学習上や生活上で困難を抱えている児童が6人以上在籍している	69.2%	29.9%	●
発言や活動の時間を確保して授業を進めている	84.6%	96.9%	●
国語の指導として、普通教室でのインターネットを活用した授業を行っている	23.1%	34.8%	●
算数の指導として、普通教室でのインターネットを活用した授業を行っている	15.4%	22.8%	●
国語の指導として、教員がコンピュータ等を使って、資料等を拡大表示したり、デジタル教材を活用するなどの工夫をしている	46.2%	70.4%	●
算数の指導として、教員がコンピュータ等を使って、資料等を拡大表示したり、デジタル教材を活用するなどの工夫をしている	46.2%	64.3%	●

学習状況調査の結果について・・・分析は行っているが、それが授業の中で活用されていない			
	泉佐野市	国	
結果を分析し、指導計画に反映させた	100.0%	86.9%	○
結果を分析し、具体的な教育指導の改善に活用した	92.3%	88.1%	○
学習状況調査の自校の結果を学校全体で活用した	76.9%	77.4%	
学習状況調査の調査問題を授業の中で活用した	15.4%	48.6%	●
国語・算数の指導について・・・国語の指導面で課題があると考えられる 保護者への家庭学習を促す働きかけが不十分である			
	泉佐野市	国	
国語の指導として、少人数による指導（習熟度別）を行っている	0.0%	17.7%	●
国語の指導として、補充的な学習を行った	53.9%	71.7%	●
算数の指導として、補充的な学習を行った	100.0%	90.0%	○
国語の指導として、発展的な学習を行った	15.4%	37.7%	●
国語の指導として、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行った	92.3%	85.7%	○
国語の指導として、様々な文章を読む習慣をつける授業を行った	76.9%	82.9%	
国語・算数の指導として、保護者に対して児童の家庭学習を促すよう働きかけを行った	69.2%	90.5%	●
学校運営について・・・「開かれた学校」として、不十分であると考えられる			
	泉佐野市	国	
地域の人材を外部講師として招聘した授業を行った	92.3%	74.8%	○
ボランティア等による授業サポートを行った	15.4%	35.8%	●
教育活動の情報として、ホームページを開設して情報提供を行っている	30.8%	75.6%	●
地域の人が自由に授業参観できる学校公開日を設けている	30.8%	81.2%	●
教員が、他校や外部の研修機関などの学校外での研修に積極的に参加できるようにしている	92.3%	96.1%	

中学校

(平成20年4月22日実施 855名参加)

国語に関する分析
数学に関する分析
生徒質問紙の分析
学校質問紙の分析

国語に関する分析

1. 全体の傾向

「A区分問題」…概ね全国と同様であった。

- ・問題の難易度が上がったこともあり、全国と同様、正答数の分布が分散化した。

「B区分問題」…やや課題があった。

- ・問題の難易度が上がったこともあり、全国と同様、正答数の分布が分散化した。

2. 学力状況調査より

国語 A	課 題 が み ら れ た 設 問
<p>【話すこと・聞くこと】</p> <p>○話合いの方向をとらえて、適切な発言をすることができている。また話し手の意図を理解し、インタビューの展開を考えて、適切な質問をすることもできている。</p> <p>1ニイ 話合いの方向をとらえた司会の適切な発言を選択する問題 <91.7/92.8></p> <p>4ニ インタビューの展開に即した質問を書く問題 <85.7/91.3></p> <p>【書くこと】</p> <p>○論理の展開に着目して評価・批評することに課題がある。</p> <p>3一 意見文に対する評価として適切なものを選択する問題 <38.0/39.7></p> <p>【読むこと】</p> <p>○歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むことはできているが、論理の展開の仕方に即して、内容を読み取ることに一部課題がある。</p> <p>5ニ 記述の一部を文章中の他の言葉を使って書き換える問題 <50.6/58.1></p> <p>6ハイ① 歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す問題（いふ） <86.2/91.9></p>	<p>【言語事項】</p> <p>○文脈に即して漢字を正しく読むことは相当数の生徒ができています。また、語句の意味を理解して文脈の中で適切に使うこともできている。</p> <p>6ニ1～3 漢字を読む問題（標準記録を突破する、このホールは音響効果が良い、世界の平和を祈る） <93.3/96.8 84.1/90.6 93.7/97.2></p> <p>6三ア 適切な同訓異字を選択する問題（お皿のふちが欠ける） <83.0/88.9></p> <p>6三イ 適切な類義語を選択する問題（考えを変えるように彼を説得してください） <92.9/94.9></p> <p>6三ウ 適切な副詞の呼応を選択する問題（彼の性格を考えると、おそろく来ないだろう） <95.1/97.4></p> <p>6三エ 適切な語句を選択する問題（大水のために、他の町との交通がしばらくとどえた） <87.3/92.3></p> <p>○文脈に即して漢字を正しく書くことに一部課題がある。また、辞書を活用して、漢字が表している意味を正しくとらえることや慣用句の意味を適切に書くことに課題がある。</p> <p>6一1 漢字を書く問題（将来のことはヨソクできない） <54.9/63.2></p> <p>6六イ 漢和辞典で調べた意味の中から、ふさわしいものを選択する問題（年頭） <30.6/37.9></p> <p>6七 国語辞典で調べたことをもとに、慣用句の意味を書く問題 <35.9/41.4></p>

国語B	課題がみられた設問
<p>【話すこと・聞くこと】 ・今回は出題なし。</p> <p>【書くこと】</p> <p>○伝えたい事柄が明確に伝わるように書くことに課題がある。(①)</p> <p>○読み取った内容を条件に合った表現に直して書くことに課題がある。(②)</p> <p>○具体的な例を示しながら効果的に説明することに課題がある。(③)</p> <p>○自分の立場を明確にして意見を書くことについて課題がある。(④)</p> <p>【読むこと】</p> <p>○資料に書かれている情報の中から必要な情報を選ぶことに課題がある。(①)</p> <p>○表現に注意しながら文章を読むことに課題がある。(②)</p> <p>○文章に表れているものの見方や考え方について四字熟語を手がかりにして理解することに課題がある。(③)</p> <p>○読み取った情報を根拠として示すことに課題がある。(④)</p>	<p>【言語事項】</p> <p>○四字熟語を手がかりにしながら理解することに課題がある。(③)</p> <p>《問題》</p> <p>1三 別の資料に書かれている新しい情報を選び出し、条件にしたって書き換える問題 (①) <19.1/26.5></p> <p>2三 登場人物の行動を読み取り、整理して書く問題 <35.7/46.0></p> <p>2四 登場人物の考えを四字熟語と関連付け、制限範囲内の字数でまとめる問題 (③) <46.2/60.5></p> <p>3三 「全然」の使い方についての自分の考えを、根拠を明確にして、制限範囲内の字数でまとめる問題 (④) <41.5/53.7></p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	泉佐野市	全国	10PO 5P△	差
国語の勉強は好きですか	55.8	55.2		0.6
国語の勉強は大切だと思いますか	83.2	87.3		4.1
国語の授業の内容はよく分かりますか	61.9	66.8		4.9
読書は好きですか	47.4	69.0	○	21.6
新しく習った漢字を実際の生活で使おうとしていますか	42.7	58.5	○	15.8
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	72.5	79.7	△	7.2
国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか	27.8	43.1	○	15.3
国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝えるように話の組み立てを工夫していますか	22.5	39.9	○	17.4
国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気をつけて書いていますか	39.7	55.5	○	15.8
国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとめりごとに内容を理解しながら読んでいますか	48.1	61.5	○	13.4
解答を文章で書く問題は、最後まで解答を書こうと努力しましたか	54.2	63.3	△	9.1

- 学習状況調査の中で、全国との差が著しいものは11項目のうち6項目あり、全国と同様の傾向にあるものは11項目のうち3項目であった。
- 国語の勉強が好きであるという解答が全国を若干(0.6)ではあるが上回っている。
- 国語の勉強に対する意識(83.2)や国語の授業に対する意識(61.9や72.5)も高い。
- 読書に対する意識が、全国とかなり差(21.6)があり、また、小学生の調査結果(68.3)とも差があることから、読書離れが顕著である。「図書の日」の設定の有無が影響している可能性がある。
- 小学校時に課題のある項目については、より意識の低下が進んでいることが窺える。国語の授業において、自分の考えを整理し、筋道を立てて話したり書いたりすることに課題がある。

設問別平均正答率（中学校 国語A）

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	泉佐野市	全国
			正答率（%）	正答率（%）
1ー	話合いの一部を読み、発言の仕方の良い点の説明として適切なものを選択する	話の構成に注意しながら的確に聞き取る	52.3	61.7
1ニア	話合いの方向をとらえた司会の適切な発言を選択する	話合いの方向をとらえて、適切な発言をする	75.6	80.5
1ニイ	話合いの方向をとらえた司会の適切な発言を選択する		91.7	92.8
2ー ^{とら} 2ー虎	故事とその解説を読み、「 ^{とら} 虎」にたとえられている人物を選択する	文章の展開に即して内容を読み取る	60.7	64.3
2ー ^{きつね} 2ー狐	故事とその解説を読み、「 ^{きつね} 狐」にたとえられている人物を選択する		54.9	58.9
2ニ	たとえ話を踏まえ、故事成語（虎の威を借る狐）の意味として適切なものを選択する	文章の展開をおさえながら中心的な内容を考える	72.6	77.7
3ー	意見文に対する評価として適切なものを選択する	論理の展開に着目し、評価・批評する	38.0	39.7
3ニ	他の人の意見文を参考に段落分けをしたものとして、適切な組合せを選択する	適切な段落を設けて、論理的な文章にする	62.7	70.8
4ー	インタビューをする際の心がけとして適切なものを選択する	効果的なインタビューにするための準備をし、調べたことなどを適切に生かす	69.7	74.4
4ニ	インタビューの展開に即した質問を書く	話し手の意図を理解し、インタビューの展開を考えて、適切な質問をする	85.7	91.3
5ー	事象（茶わんの湯気の渦の様子）について書かれた一文を本文中から探して書く	論理の展開の仕方に即して、内容を読み取る	41.4	45.4
5ニ	記述の一部を、文章中の他の言葉を使って書き換える		50.6	58.1
5三	文章の展開についての説明として適切なものを選択する	文章の展開の仕方を読み取る	69.5	73.9
6ー1	漢字を書く（将来のことはヨソクできない）	文脈に即して漢字を正しく書く	54.9	63.2
6ー2	漢字を書く（富士山をハイケイに写真を撮る）		73.9	77.5

6-3	漢字を書く（一定の温度を <u>タモつ</u> ）		77.7	83.5
6ニ1	漢字を読む（標準記録を <u>突破</u> する）		93.3	96.8
6ニ2	漢字を読む（このホールは <u>音響</u> 効果が良い）	文脈に即して漢字を正しく読む	84.1	90.6
6ニ3	漢字を読む（世界の平和を <u>祈る</u> ）		93.7	97.2
6三ア	適切な同訓異字を選択する（お皿のふちが <u>欠ける</u> ）		83.0	88.9
6三イ	適切な類義語を選択する（考えを <u>変える</u> ように彼を <u>説得</u> してください）		92.9	94.9
6三ウ	適切な副詞の呼応を選択する（彼の性格を考えると、 <u>おそらく</u> 来ないだろう）		95.1	97.4
6三エ	適切な語句を選択する（大水のために、他の町との交通が <u>しばらくと</u> だえた）	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う	87.3	92.3
6三オ	適切な語句を選択する（彼がこの討論の <u>口火</u> を切った）		54.3	54.7
6三カ	適切な敬語を選択する（校長先生は、壁にはった生徒の <u>絵を</u> ご覧になりました）		67.1	74.3
6三キ	適切な同音異義語を選択する（中学生を <u>対象</u> に調査する）		61.9	66.0
6四	行書、楷書 ^{かい} の特徴の説明として適切なものを選択する	漢字の楷書と行書の違いを理解している	73.1	79.9
6五	見やすく書かれている伝票の説明として適切なものを選択する	配列・配置に注意して書く	41.6	45.1
6六ア	漢和辞典で調べた意味の中から、ふさわしいものを選択する（街頭）	辞書を活用して、漢字が表している意味を正しくとらえる	68.5	71.6
6六イ	漢和辞典で調べた意味の中から、ふさわしいものを選択する（年頭）		30.6	37.9
6七	国語辞典で調べたことをもとに、慣用句の意味を書く	辞書を活用して、慣用句の意味を適切に書く	35.9	41.4
6八ア	「竹取物語」の冒頭部分の文章に句点をつける	古文の中の文のまとまりをつかむ	78.9	87.3
6ハイ①	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す（いふ）	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読む	86.2	91.9
6ハイ②	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す（あたり）		77.0	81.7

設問別平均正答率（中学校 国語B）

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	泉佐野市	全国
			正答率(%)	正答率(%)
1一	資料中の言葉(フロリゲン)についての適切な説明を選択する	文章の内容を正確にとらえる	63.3	68.1
1二	資料中の文章表現の仕方についての適切な説明を選択する	文章が書かれた目的を考え、表現の仕方の特徴をとらえる	61.9	67.4
1三	別の資料に書かれている新しい情報を選び出し、条件にしたがって書き換える	資料に書かれている情報の中から必要な内容を選び、伝えたい事柄が明確に伝わるように書く	19.1	26.5
2一	登場人物の関係を適切に表している組み合わせを選択する	登場人物の人間関係を整理する	73.7	79.0
2二	登場人物の行動から読み取れる心情として適切なものを選択する	登場人物の心情をとらえる	68.8	75.2
2三	登場人物の行動を読み取り、付箋 ^{せん} に整理して書く	表現に注意しながら文章を読み、読み取った内容を条件に合った表現に直して書く	35.7	46.0
2四	登場人物が大切にしていると考えられることを四字熟語と関連付け、80字以上120字以内で書く	文章に表れているものの見方や考え方について、四字熟語を手がかりにして理解し、説明する	46.2	60.5
3一	レポートの内容についての適切な説明を選択する	レポートの特徴や工夫をとらえる	71.6	78.3
3二	グラフから読み取れることの説明として、適切なものを選択する	文章やグラフから必要な情報を正しく読み取る	46.2	53.6
3三	「全然」の使い方についての自分の考えを、根拠を明確にして70字以上100字以内で書く	読み取った情報を根拠として示しながら、自分の立場を明確にして意見を書く	41.5	53.7

数学に関する分析

1、全体の傾向

「A 区分問題」（「知識に関する問題」・・・全国と比べ上位層がやや少なく、下位層が多く分布。

- ・ 問題の難易度が上がったこともあり、全国と同様、昨年より正答数の分布が分散化した。

「B 区分問題」（「活用に関する問題」・・・昨年より全国との差が小さくなった。

A 同様上位層がやや少なく、下位層が多く分布。

- ・ 問題の難易度が上がったこともあり、全国と同様、正答数の分布が上位と下位の両側にピークがある。

2、学力状況調査より

数学A	課 題 等 が み ら れ た 設 問
<p>【数と式】</p> <p>○文字式に数を代入して式の値を求めることに課題。</p> <p>○文字式の意味を具体的な事象と関連付けて読み取ることに課題。</p> <p>○具体的な事象における数量の関係をとらえ、一元一次方程式を立式することに課題。</p> <p>2（2）$a=4$、$b=-3$のときの式 ab の値を求める。 〈60.6/70.7〉</p> <p>2（5）$3a+4b$ で表される事象を選ぶ。〈27.0/31.4〉</p> <p>3（2）数量の関係を一元一次方程式で表す。 〈47.4/59.6〉</p> <p>【図形】</p> <p>○円周角の大きさを求めることは、国・府より正答率が高い。</p> <p>○図形の一部と対称の中心が与えられたときに、点対称な図形を完成することに課題。</p>	<p>○ n 角形の内角の和を求める公式の意味を理解していることに課題。</p> <p>6（4）円周角の大きさを求める。 〈61.4/59.6〉</p> <p>4（1）点対称な図形を完成する。 〈45.9/57.7〉</p> <p>6（2）n 角形の内角の和を求める式で、$(n-2)$ が表すものを選ぶ。 〈38.3/46.1〉</p> <p>【数量関係】</p> <p>○ x の変域に対応する部分を、グラフ上に表現することは、国・府より正答率が高い。</p> <p>○ 反比例のグラフから、x と y の関係を $y=a/x$ の式で表すことに課題。</p> <p>○ 一次関数の表から、x と y の関係を $y=ax+b$ の式で表すことに課題。</p> <p>10 比例のグラフ上に、x の変域に対応する部分を図示する。 〈46.8/42.6〉</p> <p>11（2）反比例のグラフから式を求める。 〈31.8/35.9〉</p> <p>12（2）一次関数の表から式を求める。 〈26.2/36.6〉</p>

数学B	課 題 等 が み ら れ た 設 問
<p>【数と式】</p> <p>○ 事柄が成り立つ理由を示された方針にもとづいて説明することに課題。</p> <p>○ 発展的に考え、予想した事柄を説明することに課題。</p> <p>2（2）2桁の自然数と、その数の十の位の数と一の位の数を入れかえた数との和が11の倍数になる説明を完成する。 〈34.0/38.5〉</p> <p>2（3）2桁の自然数と、その数の十の位の数と一の位の数を入れかえた数との差について予想した事柄を表現する。 〈37.1/48.0〉</p>	<p>○ 問題解決の方法を数学的に説明することに課題。</p> <p>○ 事象を理想化・単純化してとらえ、言葉で表現された事柄の数学的な意味を考えることに課題。</p> <p>○ 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することに課題。</p> <p>1（3）男性の場合と女性の場合で、上腕骨の長さの差が等しいとき、身長差が大きくなる方を選び、その理由を説明する。 〈11.8/18.5〉</p> <p>3（2）針の全体の重さが分かっているとき、針の本数を求めるために調べるものを選び、本数を求める方法を説</p>

<p>【図形】</p> <p>○ 方針にもとづいて証明することに課題。</p> <p>4 (2) 2つの線分の長さが等しいことを、三角形の合同を利用して証明する。 <38.3/43.3></p> <p>【数量関係】</p> <p>○ 事象を式の意味に即して解釈し、その結果を数学的な表現を用いて説明することに課題。</p>	<p>明する。 <39.0/50.9></p> <p>5 (2) 高さの増大に伴って、気温が一定の割合で減少することから、高さ気温との関係を選ぶ。 <20.3/24.6></p> <p>5 (3) 表やグラフのデータをもとに、富士山の6合目の気温を求める方法を説明する。 <7.5/12.5></p>
---	--

3、学習状況調査より

質 問 項 目	泉佐野市	全国	10PO 5P△	差
数学の勉強は好きですか	50.7	52.8		2.1
数学の勉強は大切だと思いますか	74.8	78.1		3.3
数学の授業の内容はよく分かりますか	59.9	65.5	△	5.6
数学ができるようになりたいと思いますか	86.4	89.0		2.6
数学の問題の解き方が分からない時は、あきらめずにいろいろな方法を考えますか	56.9	63.6	△	6.7
数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	27.5	34.6	△	7.1
数学の授業で学習したことは、将来、社会に出た時に役に立つと思いますか	63.7	65.6		1.9
数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	57.9	62.7		4.8
数学の授業で公式やきまりを習うとき、その根拠を理解するようにしていますか	58.1	65.5	△	7.4
数学の授業で問題の解き方や考え方が分るようにノートに書いていますか	66.7	77.0	○	10.3
解答を言葉や式を使って説明する問題は、最後まで解答を書こうと努力しましたか	85.4	90.8	△	5.4

- 学習状況調査の中で、全国との差が著しいものは11項目のうち1項目あり、やや差があるものは5項目あり、全国と同様の傾向にあるものは5項目であった。
- 数学の授業で問題の解き方や考え方が分るようにノートに書いていますかという項目が全国より10P以上の差があり、途中の式や理由をノートに書くことができていないと思っている生徒が多い。
- 数学の授業の内容はよく分かりますか
数学の問題の解き方が分からない時は、あきらめずにいろいろな方法を考えますか

数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか

数学の授業で公式やきまりを習うとき、その根拠を理解するようにしていますか

解答を言葉や式を使って説明する問題は、最後まで解答を書こうと努力しましたか

上記の項目は、全国とやや差があり、授業が分かる、あきらめずにいろいろな方法を考える、学習したことを生活の中で活用しようとする、公式などの根拠を理解しようとする、記述式問題を最後まで書こうとするなどにやや課題がある。

設問別平均正答率（中学校 数学A）

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	泉佐野市	全国
			正答率(%)	正答率(%)
1(1)	$5/7 - 2/3$ を計算する	分数の減法の計算をすることができる	76.9	85.1
1(2)	正の数と負の数で表した2つの市の最低気温の差を求める	正の数と負の数の意味を実生活の場面に結び付けて理解している	70.1	76.9
1(3)	$2 \times (-3^2)$ を計算する	指数を含む正の数と負の数の計算をすることができる	65.0	71.4
2(1)	$(5x-8) - 2(x-3)$ を計算する	整式の加法と減法の計算をすることができる	74.9	82.5
2(2)	$a=4, b=-3$ のときの式 ab の値を求める	文字式に数を代入して式の値を求めることができる	60.6	70.7
2(3)	n を自然数とすると、いつでも奇数になる式を選ぶ	事象を式に表すことができる	63.7	72.1
2(4)	等式 $x+2y=6$ を、 y について解く	等式を目的に応じて変形することができる	48.6	53.9
2(5)	$3a+4b$ で表される事象を選ぶ	文字式の意味を具体的な事象と関連付けてよみとることができる	27.0	31.4
3(1)	$-5x+7=-x+31$ を解く	簡単な一元一次方程式を解くことができる	69.0	77.8
3(2)	数量の関係を一元一次方程式で表す	具体的な事象における数量の関係をとらえ、一元一次方程式を立式することができる	47.4	59.6
3(3)	$x-y=1$ の解の個数を選ぶ	二元一次方程式の解の意味を理解している	52.6	58.0
3(4)	連立方程式 $\begin{cases} y=3x-1 \\ 3x+2y=16 \end{cases}$ を解く	簡単な連立二元一次方程式を解くことができる	69.0	76.7

4(1)	点対称な図形を完成する	図形の一部と対称の中心が与えられたときに、点対称な図形を完成することができる	45.9	57.7
4(2)	垂線の作図で利用されている図形の性質を選ぶ	垂線の作図方法を図形の対称性に着目して見直すことができる	49.1	51.5
5(1)	直方体において、与えられた面に垂直な辺を書く	空間における直線や平面の位置関係（面と辺の垂直）について理解している	59.6	65.6
5(2)	^{すい} 円錐と円柱の体積を比較し、正しい図を選ぶ	円錐の体積を、底面が合同で高さが等しい円柱の体積との関係から理解している	43.3	51.4
6(1)	1組の平行線に1つの直線が交わるとき、和が 180° になる2つの角を選ぶ	1組の平行線に直線が交わってできる角の性質を理解している	75.6	79.2
6(2)	n 角形の内角の和を求める式で、 $(n-2)$ が表すものを選ぶ	n 角形の内角の和を求める公式の意味を理解している	38.3	46.1
6(3)	与えられた三角形と合同な三角形を選ぶ	三角形の合同条件を理解している	59.7	64.7
6(4)	円周角の大きさを求める	円周角の性質を理解している	61.4	59.6
6(5)①	三角形の内角の和が 180° であることの理由の説明を完成する	証明で用いられている平行線の性質を理解している	72.3	78.5
6(5)②	三角形の内角の和が 180° であることの理由の説明を完成する	証明で用いられている平行線の性質を理解している	77.3	82.8
7	平行四辺形になるための条件を、記号を用いて表す	文で示された図形の性質や条件を、記号を用いて表すことができる	51.4	57.3
8	証明で用いられている図が考察対象の図形の代表であることについての正しい記述を選ぶ	証明の意義について理解している	49.6	57.6
9(1)	数量の関係が比例になるものを選ぶ	具体的な事象の中には、比例を用いてとらえられるものがあることを理解している	54.7	58.7
9(2)	反比例の性質を表した記述を選ぶ	反比例の意味を理解している	58.3	62.7
10	比例のグラフ上に、 x の変域に対応する部分を図示する	x の変域に対応する部分を、グラフ上に表現することができる	46.8	42.6
11(1)	反比例のグラフ上の点の座標を求める	グラフ上の点の座標の表し方を理解している	68.2	73.3
11(2)	反比例のグラフから式を求める	反比例のグラフから、 x と y の関係を $y=a/x$ の式で表すことができる	31.8	35.9
12(1)	一次関数の式からグラフの傾きを求める	$y=ax+b$ の a がグラフの傾きであることを理解している	47.4	53.3
12(2)	一次関数の表から式を求める	一次関数の表から、 x と y の関係を $y=ax+b$ の式で表すことができる	26.2	36.6
13	二元一次方程式が表すグラフを選ぶ	二元一次方程式の解を座標とする点の集合が、直線のグラフとして表されることを理解している	51.2	57.2

14(1)	線香が燃えるときの時間と長さの関係を表したグラフをもとに、2cm 燃えるときの時間を選ぶ	具体的な事象について表したグラフから、2つの数量の変化の様子をよみとることができる	55.3	63.2
14(2)	線香が燃えるときの時間と長さの関係を表したグラフをもとに、18分後の線香の長さを求める	具体的な事象について表したグラフから、2つの数量の対応をよみとることができる	62.7	71.1
15(1)	場合の数を求めるための正しい樹形図を選ぶ	樹形図の意味やその使い方を理解している	68.2	74.3
15(2)	赤玉3個、白玉2個の中から玉を1個取り出すとき、その玉が赤玉である確率を求める	事象の起こり得る確率を求めることができる	68.9	74.6

設問別平均正答率（中学校 数学B）

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	泉佐野市	全国
			正答率(%)	正答率(%)
1(1)	上腕骨の長さから身長を推定する式を用いて、およその身長の値を選ぶ	情報をよみとり、的確に処理することができる	68.3	72.1
1(2)	上腕骨の長さの差が4cmのとき、身長の差を式を用いて推定する	言葉で表された式の特徴から数学的な意味を考え、事象を式の意味に即して解釈することができる	42.1	48.1
1(3)	男性の場合と女性の場合で、上腕骨の長さの差が等しいとき、身長の差が大きくなる方を選び、その理由を説明する	事象を式の意味に即して解釈し、その結果を数学的な表現を用いて説明することができる	11.8	18.5
2(1)	82と、82の十の位の数と一の位の数を入れかえた数との和を、式で表す	問題場面における考察の対象を明確にとらえている	70.1	76.2
2(2)	2桁の自然数と、その数の十の位の数と一の位の数を入れかえた数との和が11の倍数になる説明を完成する	事柄が成り立つ理由を示された方針にもとづいて説明することができる	34.0	38.5
2(3)	2桁の自然数と、その数の十の位の数と一の位の数を入れかえた数との差について予想した事柄を表現する	発展的に考え、予想した事柄を説明することができる	37.1	48.0
3(1)	積み重ねたベニヤ板の枚数の求め方を読み、枚数を何に置きかえて考えているかを答える	事象における数量の関係を見だし、何と何の関係が利用されているかを明らかにできる	63.0	71.5

3(2)	釘の全体の重さが分かっているとき、釘の本数を求めるために調べるものを選び、本数を求める方法を説明する	問題解決の方法を数学的に説明することができる	39.0	50.9
3(3)	数量を求める際、別の数量に置きかえて個数を求める方法に共通する考えを選ぶ	複数の事象を統合的にとらえ、共通する考えを見いだすことができる	47.7	49.8
4(1)	辺の長さが等しいことを証明する際に、その辺を含む三角形の合同を示せばよい理由を選ぶ	証明の方針を立てる際に根拠となる事柄を筋道立てて考えることができる	54.3	63.3
4(2)	2つの線分の長さが等しいことを、三角形の合同を利用して証明する	方針にもとづいて証明することができる	38.3	43.3
4(3)	証明で用いた三角形の合同を根拠として、証明したこと以外に新しく分かることを選ぶ	証明を振り返って考えることができる	58.2	66.3
5(1)	5つの湖から2つの湖を選ぶ組合せの総数を求める	与えられた情報を分類整理することができる	51.9	54.1
5(2)	高さの増大に伴って、気温が一定の割合で減少することから、高さ気温との関係を選ぶ	事象を理想化・単純化してとらえ、言葉で表現された事柄の数学的な意味を考えることができる	20.3	24.6
5(3)	表やグラフのデータをもとに、富士山の6合目の気温を求める方法を説明する	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる	7.5	12.5

生徒質問紙分析

泉佐野市の子どもたちの意識調査を、質問に対して4択（63問）で選ぶものは、選択肢1、2と3、4はそれぞれ同じ傾向と捉える。（例えば、1.当てはまる 2.どちらかといえば、当てはまる 3.どちらかといえば、当てはまらない 4.当てはまらない）

また、それ以外の質問（12問）は特徴的な事柄を取り出し、それらを全国・府と比較している。

下記の表には全国と比較して10pt（ポイント）以上差のあるものを列挙した。また、下線部に関しては15pt以上の差があるものを示している。（*泉佐野市の表中●は正答率と関係がある。）

設問内容種類別の全国等との比較で差が大きい特徴のある項目

設問内容種別	大阪府	泉佐野市 <泉佐野市pt/全国pt>
【生活の様子】	「就寝や起床の時間」・「朝食の摂取」・「学校の準備」等で望ましい状況の回答をした子どもの割合が低い。	●学校にもっていくものを、前日に確かめると答えた生徒の割合が全国・府より少ない。 <69.6/83.3> ●携帯電話で通話やメールをする生徒の割合が高い。（数学B以外の正答率と関係有り） <72.6/57.1> ○家の人と朝食を一緒に食べると答えた生徒の割合が全国・府より低い。 <27.1/40.6>
【家庭学習の様子】	長時間学習に取り組む子どもの割合が高い反面、家庭で全く学習しない子どもの割合が高い。 読書が好きと答えている子どもの割合が低く、まったく読書をしていない子どもの割合も高い。	●家で学校の宿題をしていると答えた生徒の割合が国や府より少ない。 <63.3/81.4> ●学校の授業の復習をしていると答えた生徒の割合が国や府より少ない。 <28.2/39.6> ●読書が好きと答えている生徒の割合が国・府より低い。 <47.4/69.0> ●全く読書をしていない生徒の割合が高い。 <57.9/37.9>
【学校での学習の様子】	「勉強に対する熱意」「授業規律」などに課題があると答えている割合が高い。 授業において「資料を読んで、自分の考えを話したり、書いたりする」と答えた回答の割合が低い。学習内容を普段の生活や自分の将来につなげていると答えた子どもの割合が低い。 昨年度より、放課後等の補足的な学習を実施	●授業で発表する機会が与えられていると答えた生徒の割合が低い。 <56.4/74.5> ●文章を読むとき段落や話のまとめりとともに内容を理解しながら読んでいると答えた生徒の割合が全国、府より低い。 <48.1/61.5> ○学校で好きな授業があると答えた生徒の割合が低い。 <65.4/77.2> ○「総合的な学習の時間」の勉強が好きだと答えた生徒の割合が低い。 <42.9/59.3> ○「総合的な学習の時間」で新しいことが発見できると答えた生徒の割合が低い。 <31.2/48.2> ○新しく習った漢字を実際の生活で使おうとする生徒は全国、府より少ない。 <42.7/58.5> ○国語の授業で、意見発表のとき話の組み立てを工夫してい

<p>【学校での学習の様子】</p>	<p>している学校の割合が 高く今年度も増加傾向 にある</p>	<p>ると答えた生徒の割合が全国、府より低い。 <22.5/39.9> ○考えを書くとき理由がわかるように気をつけると答えた生 徒の割合が全国、府より低い。 <39.7/55.5> ○数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノート に書いていると答えた生徒が全 国、府より少ない。 <66.7/77.0></p>
--------------------	--	--

学校質問紙の分析

本市の調査結果を国の数値と比較し、

プラスの状況と考えられるものには ○印 を

マイナスの状況と考えられ。課題として捉えているものには ●印 をつけている

学習規律について・・・課題があると思われる。学力との関連も深いと考えられる			
	泉佐野市	国	
熱意を持って勉強していると思う	80.0%	85.1%	●
授業中の私語が少なく落ち着いていると思う	60.0%	91.2%	●
学習規律の維持を徹底している	60.0%	95.7%	●
礼儀正しいと思う	60.0%	88.0%	●
生活について・・・課題があると考えられるが、本市だけではなく大阪府の課題でもあると考えられる			
	泉佐野市	国	
第3学年の生徒のうち、就学援助を受けている生徒の割合が10%以上である	100.0%	48.3%	●
学習環境について・・・学習環境の整備が不十分である。また、ICT教育推進も課題である。 土曜日の補足的な学習の取り組みはないものの、長期休業中の補足的な学習には、全校で取り組んでいる。			
	泉佐野市	国	
普通教室にLANが整備されている	0.0%	45.3%	●
学校図書館図書標準が達成されている	0.0%	42.3%	●
土曜日を利用した補足的な学習サポートを行っている	0.0%	3.4%	●
長期休業中を利用した補足的な学習サポートを実施している	100.0%	77.0%	○
国語の指導として、普通教室でのインターネットを活用した授業を行っている	0.0%	15.3%	●
数学の指導として、普通教室でのインターネットを活用した授業を行っている	0.0%	11.1%	●
国語の指導として、教員がコンピュータ等を使って、資料等を拡大表示したり、デジタル教材を活用するなどの工夫をしている	60.0%	44.1%	○
数学の指導として、教員がコンピュータ等を使って、資料等を拡大表示したり、デジタル教材を活用するなどの工夫をしている	40.0%	47.2%	●
学習状況調査の結果について・・・分析は行っているが、それが授業のなかで活用されていない			
	泉佐野市	国	
結果を分析し、指導計画に反映させた	100.0%	86.0%	○

結果を分析し、具体的な教育指導の改善に活用した	100.0%	82.9%	○
学習状況調査の自校の結果を学校全体で活用した	100.0%	71.4%	○
学習状況調査の調査問題を授業のなかで活用した	20.0%	39.2%	●
<p>国語・数学の指導について・・・</p> <p>国語:書く指導、読む指導には取り組んでいるが、発展的な指導について課題がある 家庭学習に対する取り組みが不十分である</p> <p>数学:家庭学習についての取り組みは十分行われている 補充的な学習の指導に課題がある</p>			
	泉佐野市	国	
国語の指導として、書く習慣をつける授業を行った	100.0%	89.8%	○
国語の指導として、様々な文章を読む習慣をつける授業を行った	100.0%	83.1%	○
国語の指導として、発展的な学習を行った	0.0%	48.6%	●
国語の指導として、家庭学習の課題を与えた	40.0%	86.5%	●
国語の指導として、保護者に対して家庭学習を促すような働きかけを行った	20.0%	66.6%	●
数学の指導として、補充的な学習を行った	60.0%	88.8%	●
数学の指導として、家庭学習の課題を与えた	100.0%	90.4%	○
数学の指導として、家庭学習の継続的な実施や習慣づけを図るために家庭学習の課題を与えた	100.0%	87.9%	○
数学の指導として、授業内容の定着を図るために家庭学習の課題を与えた	100.0%	96.5%	○
<p>学校運営について・・・PTA、地域人材の参加は行われているようだが、「開かれた学校」としての取り組みに課題がある。研修については充実している。</p>			
	泉佐野市	国	
地域の人材を外部講師として招聘した授業を行った	40.0%	57.9%	●
PTAや地域の人が学校の諸活動にボランティアとして参加してくれる	100.0%	93.0%	○
第3学年の生徒に対して定期的な家庭訪問を年2回以上行った	0.0%	8.6%	●
第3学年の生徒に対して授業参観を年4回以上実施した	0.0%	42.2%	●
学校テーマを決め、講師を招聘するなどの校内研修を行った	100.0%	82.9%	○
模擬授業や事例研究など実践的な研修を行った	100.0%	81.2%	○
地域の人が自由に授業参観できる学校公開日を設けている	0.0%	76.9%	●
教員が、他校や外部の研修機関などの学校外での研修に積極的に参加できるようにしている	100.0%	90.9%	○